

私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



今年号では、医療資源「残薬」をテーマに、私たちができることや薬剤師の声をお届けし、医療資源の有効活用について考えます。

我が国の国民医療費は年々増加し、現在、約40兆円の規模となつています。このうち高齢者に係る医療費は医療費全体の3分の1を占めており、年々その割合も上昇しています。医療費が増大する中で、現在の医療制度を維持するためには、医療費増大の抑制が必要といわれております。具体的には、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の積極的使用などが推進されている中、各家庭に残っている「残薬」にも着目が集まっています。「残薬」とは、病院からもらったお薬を忘れたり、中止になったり、何らかの理由で各家庭に残ってしまった状態の薬のことです。その服用されないで残った薬である「残薬」は、日本全体で金額にして5000億6000億円にもなるという報告があります。この貴重な医療資源である「残薬」をいかに有効利用するかが、今後の課題とも言われております。

医療資源「残薬」を 有効活用しましょう

今年号では、医療資源「残薬」をテーマに、私たちができることや薬剤師の声をお届けし、医療資源の有効活用について考えます。

年間600億の 医療費が節約できる？

皆さんもご存じのとおり、我が国の国民医療費は年々増加し、現在、約40兆円の規模となつています。このうち高齢者に係る医療費は医療費全体の3分の1を占めており、年々その割合も上昇しています。



私たちにできる 残薬の有効活用

では、どのように有効利用すればいいのでしょうか。例えばですが、現在、ご自宅にある「残薬」を、袋に入れて薬局に全部ご持参いただくのはどうでしょうか。

薬の専門家である薬剤師が、必要性の有無を判断し、医師と相談しながら、お薬の調節や分別を実施することができます。

さらに、お薬を有効活用するために、「お薬手帳」を活用して、お薬の情報を常に取りまとめおくこと、医師や薬剤師に相談するときに非常に便利です。お薬の内容によっては、お薬の飲み方も一包化、お薬カレンダーを用いるなど工夫するように提案できます。今一度、ご自宅のお薬を見

奥祖谷パール薬局 薬剤師の手島さんに聞きました



【氏名】手島 賢二 さん (72歳)

【略歴】東京都出身、52歳まで都内民間大手企業の診療所にて勤務された後、北海道、島根、茨城ほか日本各地の薬局で活躍されてきました。平成24年秋より当市のパール薬局西祖谷店に勤務。本年2月より奥祖谷パール薬局へ転勤されてこられました。現在、西祖谷一字で居住されています。薬剤師歴45年。

【当市の印象】山々が非常に峻峻なので最初は怖かったです。しかし今は自然豊かで風光明媚なところとして気に入っています。

【今後の抱負】お年寄りが多い地域ですので丁寧に対応していきたい。東祖谷診療所の医師の方々も非常に熱心に診療にあたられています。こちらとしても負けないようにがんばりたいと思っています。薬のことや残薬のことなど何でもかまいませんので、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】
三好市役所保険医療課
電話 72・7613
三好地区薬剤師在宅医療研究会 事務局 三好保健所
電話 72・1121

東祖谷に
調剤薬局がオープン
平成27年2月3日より、東祖谷地区に調剤薬局（奥祖谷パール薬局）がオープンしました。
開局時間▽（月・木）13時～17時
（火・水・金）9時30分～12時、13時～17時
休業日▽土・日・祝日
電話 76・7233



「定期観光バス運行開始」



皆さんお元気ですか。観光大使の北山たけしです。今月新曲「かたくりの花」が発売になります。かたくりの花の花言葉は『寂しさに耐える』です。この歌では夢に向かう人を寂しさに耐えながらけなげに影から支える女性を描いています。この曲の歌詞を通じて、皆さまの心の支えになるように頑張つて歌って参ります。さて、三好市も少し暖かくなり春の訪れが感じられる季節になりました。

節になってきたのではないのでしょうか。私が一日市長の折に訪れた阿波池田バスターミナルから定期観光バスが3月21日に運行を開始すると聞いています。コースの祖谷街道は、中型バス一台がやっと通れるほどの険しく細い道です。小便小僧が立つ街道からは目もくらむような深い谷を眼下に望み、昔ながらのボンネットバスが進みます。私がお邪魔した祖谷のかずら橋や大歩危遊覧船もコースに入っていますので、観光するのに大変おススメですよ！

また、ボンネットバスをお見送りする時、乗車されていたお客様から「カラオケで剣山歌っているよ。とても良い歌だね！」とお声をかけていただいたので、そこで「剣山」を歌わせていただき、多くの市民の方と交流することができました。あらためて三好市の皆さまとの出会いに心から感謝した出来事でした。

北山たけしさん 観光大使 行動記⑤



連載 地域おこし協力隊活動報告 ③9

いろいろカフェと絵本づくり 渡邊 みどり



▲真正正銘の炭火焙煎コーヒー

日ごとに暖かさを感じるようになってきました。今回は私の大好物、コーヒーと絵本のお話です。井川町の「辻のいろいろ」に、体験型コーヒー屋「いろいろカフェ」を3月7日限定でオープンします。囲炉裏の炭火で生豆を煎つて石臼で挽き、井川のおいしい山水で飲む、ここだけでしか味わえないコーヒー体験が出来ます。時間と手間は掛かりますが、遠赤外線ですっきり焙煎したコーヒーは格別！井川町内で採れたはつきくや芳水さんの酒粕を使ったスイーツとセットでご賞味いただけます。



▲制作中の絵本の主人公、おサルのおサム君

きます。3月21日には、第2回目も企画中です。ご参加お待ちしています。絵本は子供のためのものという印象をお持ちかと思いますが、最近は大人の愛好家も多く、かく言う私もその一人です。読むだけに留まらず、三好市の風景を題材に絵本を目下制作中です。また、中高生と英語の絵本を作る計画も準備を進めています。姉妹都市交流などの際に活用出来ればと考えています。出来上がったら、ぜひ手に取ってみてくださいね。